

朝日環境センターにおける環境啓発について

「廃棄物処理施設整備基本計画」（令和 5 年 6 月閣議決定）では、重点施策のひとつとして、「地域に多面的価値を創出する廃棄物処理施設の整備」が挙げられています。この計画では、廃棄物エネルギーを高効率に回収することによって地域のエネルギーセンターとしての機能に加え、廃棄物処理工程の見学などを通じた環境教育や学習の場としても期待されています。

これまで川口市では、朝日環境センターリサイクルプラザがその役割を担う拠点として活用されてきました。しかし、朝日環境センター（焼却棟）の再整備に伴い、今後の環境啓発のあり方について再検討が求められています。

1. リサイクルプラザにおける環境啓発の位置づけ

現在、リサイクルプラザで実施されている環境啓発活動は、川口市のごみ処理に関する最上位計画「一般廃棄物処理基本計画」の施策を実現するための重要な拠点として位置付けられています。この計画では、市民および事業者への 3R 推進に向けた教育・啓発活動の強化が求められています。

基本的な考え方

- ・循環型社会の構築に向けて、市民および事業者の一層の理解と協力を得るために、積極的な情報提供と、3Rに関する普及啓発活動を行います。
- ・環境教育・環境学習の取り組みを推進し、市民・事業者の自主的な3Rを促します。
- ・再生資源の利用促進と行政の率先行動のためにグリーン購入を積極的に推進します。

これらに加え朝日環境センター（焼却棟）の再整備においては、リサイクルプラザを存置し継続利用する予定です。そのため、リサイクルプラザでの環境啓発も継続することを基本とします。

2. 再整備後における朝日環境センターの環境啓発方針

リサイクルプラザにおける環境啓発は、川口市全体のごみ処理を対象としており、再整備後の焼却棟とは異なる内容を扱う方針とし、焼却棟内での環境啓発は視聴覚的な体験を重視し次の内容を含む予定です。

- ① ごみピットの見える化：実際のごみの排出量を目で確認できる機会を提供
- ② 焼却処理工程の見える化：焼却処理工程を通じたエネルギー回収技術の過程を見学
- ③ 正しい分別方法の見える化：ごみピット火災防止のための安全なごみ処理の促進

また、リサイクルプラザとは異なる啓発対象を設定しますが、見学者の動線（全体）は、現在と同様に、リサイクルプラザを起点に各種学習を進めることを前提とします。このようにして、両施設が一般廃棄物処理基本計画に示される基本施策や理念の実現に向けて連続性と関連性を持たせた内容とするよう留意します。

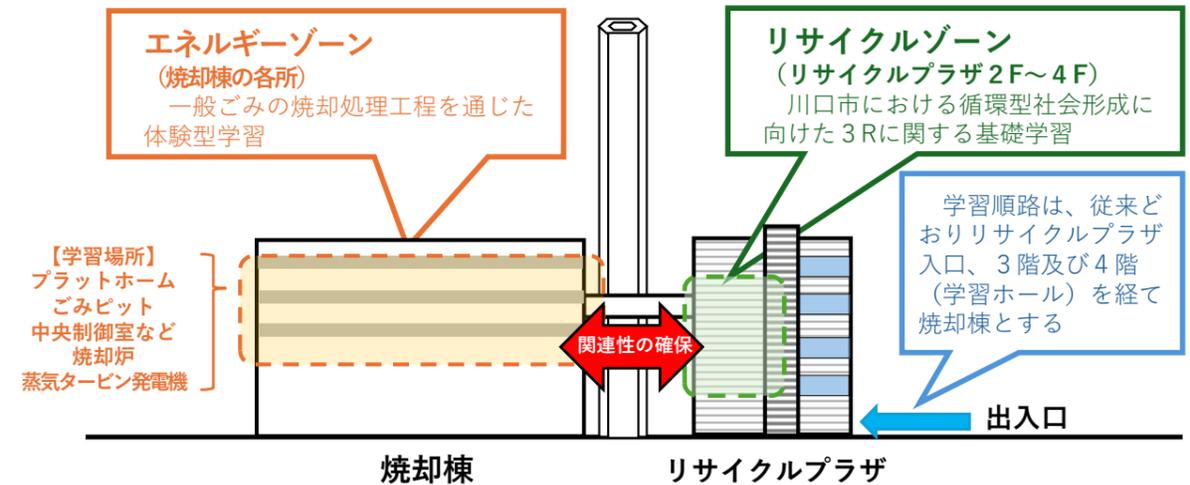


図 1 既存リサイクルプラザとの住み分け（イメージ）

表 1 エネルギーゾーン（焼却棟）における環境啓発設備の内容（参考）

| 学習場所 | 内容 |
|-----------|---|
| 焼却棟廊下① | 再整備前の朝日環境センターをはじめ川口市における一般ごみ処理の歴史について展示物を中心に学習する。 |
| プラットフォーム | 収集車の原寸大パネルや映像資料を基に川口市における、一般ごみの収集から処理までの工程について <u>視覚的に学習</u> する。 |
| ごみピット | 腰壁のない解放的な窓からごみピットの見える化を通じて 1 日あたりに排出されるごみ量を <u>目で見て学習</u> する。 |
| 中央制御室 | ごみ焼却に伴って発生する有害物質の除去過程について見学者パネルや映像コンテンツを用いて学習する。 |
| 焼却炉 | 炉内でのごみ焼却の状況について遠隔監視映像などを通じ、 <u>目で見て学習</u> 、焼却処理の有効性および最終処分の課題について学習する。 |
| 蒸気タービン発電機 | 見学者パネルや映像資料を通じて、 <u>ごみ焼却処理工程で発生するエネルギー回収機構の見える化</u> を通じて、地球温暖化防止に対するごみ発電の重要性を学習する。 |
| 焼却棟廊下② | 一連の学習の復習として、ごみ分別に関するクイズを通して 3R に加え、エネルギーの重要性について学習する。特に、再整備前の朝日環境センターにて発生したごみピット火災防止に向けた正しい一般ごみの分別について理解を深める。 |

表 2 エネルギーゾーン（焼却棟）における環境啓発設備のイメージ



（出典）ふじみ野市・三芳町環境センター